



飛鶴の森林から

第60号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

第17回釧路湿原自然再生協議会

2月15日(水)、釧路市「アクア・ベール釧路」で、個人会員11名、14団体各委員及び関係行政機関などが出席して釧路湿原自然再生協議会が開催されました。

最初に、各小委員会から1年間の活動(取り組み)状況報告と委員より出された主な意見について報告を行ない、それを受けて活発な意見交換が行われました。

その後、釧路開発建設部より釧路湿原幌路地区における自然再生事業の計画(案)の提示があり、活発な意見交換が行われ、第17回釧路湿原自然再生協議会を終えました。



↑ 中村協議会会長(挨拶)



↑ 雷別自然再生事業の説明

第5回「雷別ドングリ倶楽部」活動

2月22日(水)、雷別ドングリ倶楽部会員12名が参加して今年度最後の活動を実施しました。

活動内容は①「冬芽の観察会」、②「来年度の雷別ドングリ倶楽部活動予定について」でした。

「冬芽の観察会」では、参加者全員が防寒衣を身にまとい、根釧西部森林管理署前庭や春採公園にある樹木を利用してミズナラ、オニグルミ等の冬芽をじっくり観察しました。

観察会終了後は、室内に移動して平成24年度「雷別ドングリ倶楽部」活動予定について意見交換を行い、年5回の倶楽部活動の実施、センターが行う各ボランティア活動に積極的に参加することなどを決め、今年度の活動を終わりました。



↑ マカンバ(根釧西部森林管理署前庭)

カツラ(春採公園内) →

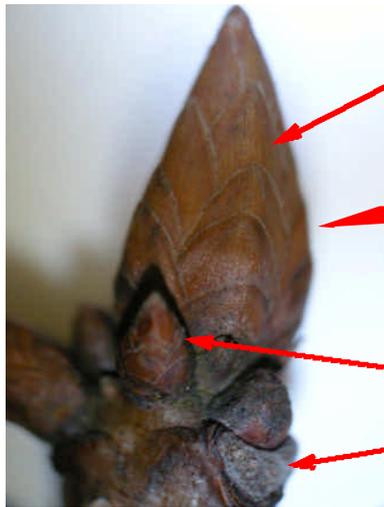
冬芽の観察会の様子



※裏面にも冬芽を載せています。

冬芽の観察

ミズナラの冬芽



芽鱗 (25 ~ 30 枚)

頂芽・・・卵形または五角錐型で先端はとがっている。5~10mm 程度

側芽

葉痕・・・半円形または腎形



←イタヤカエデ

アオダモ→

← 冬 芽 →



オニグルミの冬芽



頂芽・・・円錐形または円錐状卵形で先端はとがる。長さ 10 ~ 16mm、幅 7 ~ 13mm 程度
裸芽のため芽鱗はない

側芽

葉痕・・・T字型 (ひつじの顔や猿の顔の様に見える)
黄褐色または濃褐色で短い毛が密生している。



カシワの冬芽

エゾヤマザクラの冬芽



頂芽・・・長卵形または長だ円形で先端はとがっている。6 ~ 8mm 程度

芽鱗 (8 ~ 10 枚)

側芽

葉痕・・・やや半円形または三日月形



2011・国際森林年

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp